



Vol.48 春号
発行
富山市民国際交流協会
広報委員会

〒930-0002 富山市新富町一丁目2-3
CiCビル3F 富山市国際交流センター内
TEL (076) 444-0642 FAX (076) 444-0643
発行責任者 広報委員会委員長 岡田昌代

日本語講座



日本語
もうだいじょうぶ!

ニホンゴ スコシ
ハナセマス!



当協会日本語を学習する
外国の人たち

ボランティアで育てよう 富山市民国際交流協会

委員会報告

多国言語文化交流クラス

モザンビーク&ポルトガル語&シテウェ語

2月5日

講師 フェルナンド ジュニア氏

モザンビークは、アフリカの南東、インド洋に面している自然が豊かでとても美しい国です。1975年ポルトガルより独立した後も民族の紛争が続き、1992年の和平成立以降は平和と経済成長を享受しています。

モザンビークの公用語はポルトガル語ですが、16の民族の言語も使われており、シテウェ語もその一つで講師の出身地の言語だそうです。また、現在モザンビークとポルトガルのスポーツ大使 エウゼビウ氏は、かつてペレーやマラドーナとならぶ有名なサッカー選手であったことや、アメリカ民主党のジョン・ケリー氏のテレザ夫人もモザンビークの出身であることなどの話題では、参加者は興味深く楽しく聞きました。

また、生活や料理についてもユーモアをまじえて紹介されました。講師は、富山大学教育学部の大学院入学を目指して日本語の勉強中です。



インドネシア&インドネシア語

3月5日

講師 ボブシ アリフ クルニアワン氏(富大工学部知能情報研究専攻)

インドネシアは、赤道直下に位置し、スマトラ ジャワ カリマンタンなど17,000以上の島々からなる世界最大の島嶼国家で国土面積は日本の約5倍、人口は2億3,500万人で世界で5番目に多い。民族集団は約300はあるといわれ、自然・民族・文化が多様な国ですが、宗教は人口の約90%がムスリム(イスラム教徒)で世界最大のイスラム国です。

統一言語は、インドネシア語ですが民族言語は250以上もあり、インドネシア語が分らない人もいます。インドネシア語はつづり字がアルファベット字表記で、発音はABCはアベシとなり日本人にとっては比較的簡単に会話ができるようになります。

また、インド洋大津波被災地救済の募金箱を設置し、参加者から募金をしていただきました。

TERIMA KASIH(テレマ カシィ) ありがとう



英語スピーチと討論の会(ESD)

2月例会 2月9日 18:30~20:00

テーマ 「Tourism in England--Golf and sports」

スピーカー Anthony Cummings 氏

時代とともにリバプールでは様々な移民や外国人労働者を受け入れ、多文化都市に変わりつつある。人口の増加に伴い、ロンドンなどの大都市では不動産の価値が上がり、都会の家を売却して郊外や海外に移住する人も増えている。比較的治安の良い国だが夜の一人歩きは危険である。また、有名なイギリスの朝食(イングリッシュ・ブレックファースト)は2時間程もかかって食べるくらいにボリュームがある。等々…。

講師はリバプール出身の熱心なゴルフ愛好家で、観光・スポーツ・食生活・文化などについて話されました。

これらの講話・座談・討論などすべて英語で行なわれました。

平成16年度 中国語講座春期集中講座開講

中国語会話能力の向上を目指す受講者たちは、毎回のように参加して会場はいつもいっぱいでした。

- | | | | |
|-----|-------|-------------|------------------------|
| 第1回 | 3月5日 | 10:00~12:00 | 湯老師 |
| | | | テーマ「中国語の間違いやすいところ」 |
| 第2回 | 3月5日 | 13:30~15:30 | 銭老師 |
| | | | テーマ「中国語の基本文型」 |
| 第3回 | 3月6日 | 10:00~12:00 | 胡老師 |
| | | | テーマ「2004年に中国であった感動する話」 |
| 第4回 | 3月6日 | 13:30~15:30 | 岡田老師 |
| | | | テーマ「動作文とその活用」 |
| 第5回 | 3月12日 | 10:00~12:00 | 楊老師 |
| | | | テーマ「楽しく会話しよう」 |

国際教養委員会

初めてのホームビジット

会員 塚本美津子



1月22日、バングラデシュのワシムさんと、イランのユセフィさんを我が家に迎えました。

我が家はマンションで日本らしくない家の造りだし、言葉の方も全く出来ないで、これまでも何度か声を掛けられていたのですが、今回はじめてホストファミリーを受けました。

お二人とも日本語が随分お上手で不安も心配もふっ飛んでしまいました。お互いの国の事、家族の事、信仰などとたくさん話をしたり、また、写真を見せ合ったりしました。お昼は丼や天ぷらうどんを一緒に作って日本食で楽しく頂きました。午後のお茶の時間には、英語を話せる長男の嫁と孫がケーキを持って来てくれました。一層賑やかになり、とっても楽しい一日はあっという間に過ぎました。帰られる時には、この次はお国の料理を教えていただく約束もチャッカリ取りつけてお送りしました。

数日後には、お二人からお礼の手紙もいただきました。こんな所で良ければ何度でも来ていただきたいと思います。

料理交流会「セルビア・モンテネグロ」



講師
スロボダン・パブコヴ氏
(セルビア・モンテネグロ出身)

2月17日
エルフ富山

メニュー

ムサカ…合びき肉とスライスしたじゃが芋の重ね焼き

サラダ…キャベツ きゅうり なす

ムサカは「ラザニア」を思い出させました。サラダはギリシャ風であっさりしていましたが、どちらもニンニクたっぷりで風邪も吹き飛ばような料理でした。

ボランティア委員会

講演 「イスラムとは何か ～恐ろしい残酷な教えなのか～」

講師 岡倉 徹志氏（富山国際大学教授）



イスラム（アラビア語ではイスラームという発音が正しい）という言葉には唯一絶対の神（アッラー）に服従〈帰依〉すること、平穏であることという二つの意味がある。イスラムとサラーム（平和）に語根は同一であり、イスラム世界では人々が日常的に「今日は」などの挨拶言葉に「サラーム」を使用しているほどである。

天地万物すべてを創造した全知全能の神にすべてを任せることを誓った人がムスリム（イスラム教徒）と呼ばれる。ムスリムはイスラムの基本的柱である六信（神、天使、啓典、預言者、終末の日、予定）の存在を受け入れ、六信を裏打ちするために日常生活で五行を実践する。五行とは信仰告白（「アッラーの他に神はなし。ムハンマドはその使徒である」）を祈りの際に唱える）、礼拝、喜捨、断食、巡礼の五つの行為を言う。イスラム教徒は巡礼以外の四行を義務として実践しなければならない。ただ

巡礼は肉体的、金銭的に余裕のある信徒が一生のうち一度、イスラム誕生の地メッカへ詣でることが望ましいとされる。

そもそもイスラムは「サラーム」の宗教であり、決して恐ろしい残酷な教えではなかった。第一次世界大戦後、イギリス、フランスがパレスチナやシリア、イラクなどのイスラム世界に進出、さらに第二次世界大戦後はアメリカ、ソ連が同世界で覇権争いを繰り広げた結果、イスラム信徒たちはその渦中に巻き込まれた。現地での反帝国主義的闘争が展開される中で、一部のイスラム教徒が暴力、テロを使って抵抗したが、現在、イラクを舞台とする恐ろしい現状は外国勢力による介入に対する戦いの続きであるといっている良いだろう。

講師の専攻は中東、イスラム世界の現代政治、国際関係で「パレスチナ・アラブ」「イスラム急進派」などのほか多数の著書があります。

参加者たちは熱心に真剣に聴講し、質問もたくさんありました。イスラムについて正しく知って少しずつでも理解を深めることが出来たようでした。今後は、イスラム世界のニュースなどを見る目も変わるかな…？

♪ A HAPPY BIRTHDAY TO イズミさん！



みなさんありがとう！
こんな席で、私の誕生日を祝っていただくとは考えてもいませんでした。感激です。1920年(大正9年)北海道旭川市で生まれ中学卒業までを過ごしましたが、85才になりましたが、まだ勉強したいことが山ほどあります。

今日はほんとうにありがとうございました。

イズミ オキナガ

2月25日誕生日を迎えた泉興長さんをみんなで祝いました。泉さんは県立高校や富山市立外国語専門学校で中国語を教えていらっしゃいました。当協会の設立当初より総務企画委員会で活躍し、また、日本語、中国語、英語の音韻比較の研究を続けていらっしゃいます。

…TCAカレッジに参加して…ひとこと

雪の降る寒い日でした。24人が参加しました。
みなさんから感想をいただきました。

- ・テーマを取り上げた学習会が良かった
- ・宿泊してゆっくりとした時間の中で、懇親会でじっくり話し合い、交流して仲間意識が深まった
- ・「マツケンサンバ」やカラオケが楽しかった
- ・安価で良質なサービスの宿泊研修は大変良かった
- ・講演は「イスラム」に関する話をしっかり聞くことが出来て大変よい企画だった。質問の時間がもう少しあれば良かった。
- ・「預言者」を「豫言者」と混同して考えていたが、今回の講座で「預言者」とは「神の言葉を預かる者」であるということを理解しただけでも勉強になった。

総務企画委員会

和紙工芸教室(和紙人形)



講師
小西容子さん(会員)

2月6日
当センター

富山在住の外国の人たちと会員ら20人が参加しました。日本の昔話の中から「かぐや姫」を和紙で作りました。はじめにストーリーを聞いてから、子供たちも真剣にいていねいに細かい作業に挑戦して作り上げました。

竹を配してかわいい「かぐや姫」を台紙に貼り付け、出来上がった自分の作品と記念写真におさまり、満足！満足！

もっと知ろう世界の街「ハワイ」



講師 リネー岩田氏
(ハワイ出身)

3月13日
当センター

アロハアヒアヒ（こんにちは）…

もう、皆さんにはおなじみのハワイですが、その歴史や生活、自然などについてリネーさんのお話を興味深く聞きました。

また、ハワイ語についても学び、少し練習もして楽しい一時を過ごしました。

文化交流委員会

新春国際交流の つどい2005

〈楽しく国際交流を深めていこう〉

1月8日
CiC 5 F 多目的ホール

毎年恒例の「新春国際交流のつどい2005」は、今年も〈楽しく国際交流を深めていこう〉と富山在住の中国・アメリカ・インド・ロシア・ブラジルなど18ヵ国の外国人の人たちと会員らの160人が参加して開催され、踊りやゲームで親睦を深めました。

今年は「心いっぱい、体いっぱいに楽しく交流しよう!」をテーマに会場作りも周りにイスやテーブルを配置し、大きく動けるようなスペースを広く取りました。

「新春国際交流のつどい2005」実行委員会では、外国の人もメンバーとなり「全員がお互いに「楽しかったネ!」と言い合えるような会にしよう」と企画し、アイデアを出し合い準備を進めて来ました。中でも「マツケンサンバ」は年末から年始にかけて練習を重ね、なかなか大変でした。その甲斐があつてか賑やかな音楽と軽快なステップの「マツケンサンバ」は、ステージでも会場でも大勢の人たちが陽気にダンスに興じ、大変に盛り上がりました。

プログラムは、祝賀の舞・日本舞踊で始まり、お餅やみかん、お茶やジュースを囲んで歓談して、音楽に合わせたゲームや遊び、体操を楽しみました。会場からの飛び入りで本場ブラジルのサンバや練習を重ねた「マツケンサンバ」を踊って爽やかに汗を流し、そして、最後に「みんなで歌おう「蛍の光」」を大合唱して閉会しました。

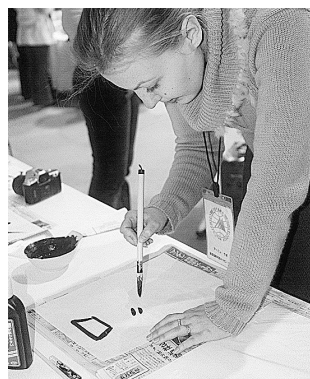
また、会場には、おたのしみコーナーが設けられ「こどものコーナー」では保育士学生のボランティアたちが綿菓子作りや塗り絵釣りを子どもたちと遊んだり、桜餅作り体験コーナーや習字のコーナーでは、日本の伝統文化にも触れながら交流しました。



「マツケンサンバ」
ステージでも
会場でも…



祝賀の舞



日本の伝統文化に
触れて…

「こどものコーナー」塗り絵釣り



ホタルのヒカ〜リ♪

募金

あなたのやさしさを!

スマトラ沖地震被災者へ

当協会では、インド洋大津波の報道直後から、被災地救済の募金箱を設置しました。幸い当協会に出入りする外国人のなかには、被害にあわれた方はいらっしゃいませんでしたが、ボランティアの方々が募金箱横にパネルを設置すると、外国の人たちからも様々な言語のメッセージで呼びかけました。

皆様からのやさしさの募金35,302円は、義援金としてさっそく日本赤十字社を通して被災地へ届けました。

また、富山市ボランティアネットワーク会議でも、2月13日に富山市内13ヶ所で街頭募金を行い、当協会からも参加しました。

新富山市 国際交流団体担当者会議

2月18日、当センターに於て、合併市町村の国際交流関係担当者と国際交流関係団体が出席して初会合を開催しました。

会議では、各団体の活動状況の報告や今後の方向性、課題について話し合われました。当協会からの平成17年度新規事業(案)などの説明の後、会員の拡大、各種イベントへのPRなどについてお互いの理解、協力を図っていくことを申し合わせました。



講演会

「国際交流から多文化共生へ」

2月10日 高岡市 御旅屋セリオ7F

～多文化共生の意味を探る旅に出かけよう！～

講師 阿部 一郎 氏 ((特活)多文化共生センター理事長)



多文化共生社会とは「国籍や民族などの異なる人々がお互いの文化的な違いを認め対等な関係を築こうとしながら共に生きていく社会」である。多文化共生社会を実現するために求められる4つの視点として「多様な市民参加。外国籍住民のエンパワーメント。ステイクホルダー（利害関係）の調整。国際交流・協力と“まちづくり”」をあげ、いずれもコーディネーターが必要である。多文化共生社会を実現するためには、自治体、住民、国際交流協会、企業、NPO、NGOなどが連携、協働して施策を進めて行かなければならない。など、その内容を解り易く講演されました。

高岡市国際交流協会では、入管法改正後の高岡市を取りまく国際環境の変化と、それに伴う諸問題などについて現状と今後の課題解決を検討する機会にしたいと「外国人共生事業」の一環として講演会を開催されました。

また、講演の後に講師と対話形式の座談会もありました。

・ 災害ボランティア本部設置に関する研修会 ・

富山市災害ボランティアネットワーク会議は、2月27日、県民会館に於いて、富山市に大規模災害が発生した時の効果的な被災者支援及び復興活動をするための災害ボランティア本部設置システムの確立に向けた研修会を開催しました。

新潟県の小千谷青年会議所2005年度直前理事長の宮崎悦男さんは、新潟県中越地震での取り組みを紹介しながら「小千谷市災害ボランティアセンター立ち上げ

への取り組みとプロジェクト！復興支援シールについて」と題し、経験を踏まえて講演されました。

また、ワークショップ「災害発生時におけるボランティア本部の立ち上げ及び行政との連携システムの確立に向けて」では、出し合った意見を活かして、これからは民間（ボランティアネットワーク）と行政とが一体となって災害発生時の対策を講じることを確認しました。

新潟県中越大震災復興フォーラム

緊急時の全国ネットワークを活用した在住外国人支援システムの構築〈長岡の経験から〉

～中越大震災を通して見えた、みんなでできること～

2005年2月27日 長岡グランドホテル

2004年10月23日 新潟県中越地方を襲った「中越地震」で被災した長岡市と(財)長岡市国際交流協会の主催で「災害はいつ・どこで起こるか予測が付きません。被災地長岡の教訓を基に中山間地にある国際交流団体の果たすべき役割・使命を再確認し、行政との連携の中で今後の緊急時における在住外国人の支援システムの構築を目指す」ことを目的に「新潟県中越大震災復興フォーラム」が開催されました。

フォーラムには、国際交流・協力・支援事業などに携わっている人たち130余人が全国から参加しました。

プログラムは

Topic 1 「緊急時の対応～初動とニーズ～」

対談 田村太郎さん

(特定非営利活動法人 多文化共生センター理事)

羽賀友信さん (長岡市国際交流センター長)

Topic 2 「在住外国人から見た中越大震災～支援される側の視点～」

パネルディスカッション

Topic 3 「災害を通して見えた国際交流団体の存在意義と使命～支援する側の視点～」

パネルディスカッション

今回のフォーラムを通して、外国人が直面する課題は普段からある壁（ことばの壁・こころの壁・制度の壁）が災害時にむき出しになるということ。災害時の支援ニーズは、時系列で変化（緊急支援・避難生活・生活支援）すること。外国人被災者の対策は、まず、被災者を把握する。何が起きているのか、避難場所はどこで、そこは国籍などを問わないなどということを伝える事が大切である。情報伝達は、口込み・チラシ・ラジオ・携帯電話・IT、そして、バイク隊ボランティアなどを活用し情報の一元化は大切である等枚挙にいとまがありません。

もし、災害が起きたら——その支援は、初動の重要性から緊急・中期・長期と、日常生活を送るようになった時期までにおよぶ心のケアに至るまで、各団体・個人で具体的になにができるのかを考える機会となりました。

会員みなさんへ〈会費納入〉のお願い

○会費 1口 個人 3,000円 家族 5,000円 法人・団体 10,000円

○納入方法 ①当協会窓口

②振込(北陸銀行富山市役所出張所 口座「富山市民国際交流協会」普通預金No.4076440)

お知らせ

お申し込み・お問合せは当協会まで
TEL 076(444)0642 FAX 076(444)0643

行 事	日 時	と ころ	担当委員会	会 費	対 象
多国言語文化交流クラス(上海(中国)&上海語)	4月2日(土) 13:30~15:00	当センター	国際教養	200円	会 員
お花見交流会	4月8日(金) 10:30~13:00	富山城址公園	ボランティア	300円	会員・外国人
英語スピーチと討論の会 特別例会	4月12日(火) 18:30~20:00	当センター	国際教養	無料	会員・一般
理事会	4月14日(木) 14:00~15:30	当センター	—	—	—
英語スピーチと討論の会 特別例会	5月10日(火) 18:30~20:00	当センター	国際教養	無料	会員・一般
総会・記念講演会・懇親会	5月14日(土) 14:00~	CiC多目的ホール	—	懇親会3,500円	会 員
外国人のための日常生活勉強会	5月20日(金) 10:30~12:00	当センター	ボランティア	無料	外国人
日帰り交流会	5月22日(日) 10:00~15:00	古洞の森	文化交流	日本人1,000円 外国人 500円	会員・外国人
多国言語文化交流クラス(ウズベキスタン&ウズベク語)	6月4日(土) 13:30~15:00	当センター	国際教養	200円	会 員
料理交流会 (日本の家庭料理)	6月上旬 10:30~	エルフ富山	ボランティア	300円	外国人
華 道	6月中旬	当センター	文化交流		外国人
多国言語文化交流クラス(モルドバ&モルドバ語(ルーマニア語))	7月2日(土) 13:30~15:00	当センター	国際教養	200円	会 員
国内研修 (勲名古屋国際センター研修と愛知万博)	7月3日(日)~4日(月)		総務企画	22,000円(予定)	会 員

※平成17年度海外研修について とき 10月末頃に実施予定 訪問地 アメリカ・ダーラム市 詳細は次号「Vol.49夏号」でお知らせします

平成17年度 富山市民国際交流協会総会

と き 5月14日(土) 14:00

ところ CiCビル5F 多目的ホール

・総 会

・記念講演 講師 羽賀 友信氏

長岡市国際交流センター長

テーマ 『出会い、交流、そして国際協力へ』

~新潟県中越地震の体験を通して~

・交流レセプション 16:30

富山エクセルホテル東急レストラン「リコモnte」

参加会費 3,500円

※多くの方のみなさんの出席をお待ちしております。

国内研修参加者募集！

と き 平成17年 7月3日(日)~4日(月)

訪問先 (勲名古屋国際センター研修と愛知万博)

参加費 22,000円(予定) 定 員 20名(申込み順)

平成17年度講座開講 国際教養委員会

講座クラス名	研修実施 日・時
1. 英語通訳・ガイド実践クラス	毎月第4土曜日 10:00~12:00
2. 国際交流のための英語クラス	毎月第2土曜日 10:00~12:00
3. 英語によるスピーチと討論の会(E.S.D)	毎月第2火曜日 18:30~20:00
4. 日本文化英語交流クラス	毎月第3土曜日 10:00~12:00
5. 日本語ボランティア養成講座	第1,2,3木曜日 10:30~12:00
6. 中国語入門クラスA	毎月第1土曜日 10:00~12:00
7. 中国語入門クラスB	毎月第2土曜日 10:00~12:00
8. 中国語初級クラス	毎月第3土曜日 13:30~15:30
9. 中国語中級クラス	毎月第4土曜日 10:00~12:00
10. ロシア語入門会話クラス	毎月第2土曜日 13:00~15:00
11. 多国言語文化交流クラス	毎月第1土曜日 13:30~15:00

編集後記

当協会の平成17年度新規事業(案)として「災害語学ボランティア養成講座」の開設などが計画されています。

2月27日、長岡市で開催された「新潟県中越地震復興フォーラム」に参加しました。全国から国際交流・協力または支援事業などに携わっている人たちが130余人が参加しました。フォーラムのプログラム全体を通して「顔の見える関係」「日ごろからの交流」「ネットワーク」「コーディネート」などと言うことが何度か聞かれました。そして、外国人参加者からのCT(コミュニケーションテクノロジー)なる新語も使ったりして「日本の江戸時代に学び、隣近所の助け合いが最も大切である」という発言に会場は和みました。

在住外国人(支援される側)から「様子が分からない。外国人もおにぎりを貰っていいの、とか避難所などでも遠慮して入りにくかった」などのほかに「国際交流センターも被災し、閉鎖されたので大変不安だった」「日本の人たちのおだやかな行動に感心した」「ボランティアの人たちに感謝している」「在留資格の無い人たちが旅行者も一つの命として、人間として扱ってあげてほしい」などいろいろな声を聞くことができました。

フォーラムに参加してたくさんの方の話を学びましたが「一緒に住んでいる社会」で助け合い、それぞれの「思い(善意)」を形にして伝えること、また「日ごろからの交流」が大切であるなど、決して特別なことではない、みんなで「協力」してできることだと思いました。

また、会場で当協会が国内研修で訪問した庄内・静岡市・豊田市・武蔵野市・新潟市などの国際交流協会や多文化共生センターの方々とお会いし懐かしき旧交を暖めました。

広報委員長 岡田昌代

受講者募集！

研修場所 当センター

平成17年度新規事業

語学(災害)ボランティア講座(英語)開講

災害発生後の生活相談等に関する基本的な知識を学び、災害復興などに活動する語学ボランティアを養成する「語学(災害)ボランティア講座」(英語)受講生を募集します。

応募条件 次の①~③の条件すべてに該当する方対象です。

①災害時に語学ボランティアとして活動する意欲のある方。(ただし、ボランティア活動を義務付けるものではありません。)

②18才以上(高校生除く)の富山市内在住の方。

③富山市民国際交流協会 会員(年会費 3,000円)

日 時 6月~12月の第2、第4土曜日 13:30~15:30

開講予定日 6/11 6/25 7/9 7/23 8/27 9/10

10/8 11/12 11/26 12/10 (全10回)

場 所 富山市民国際交流センター会議室(駅前CiCビル3階)

受 講 料 無料(ただし教材費は除きます。)

募集人数 20名

講 座	実施時期および日時	受 講 料 (年 額)
日 本 語 講 座 2クラス(入門・初級)	毎週火曜日 19:00~20:30 4/12(火)より3月まで全30回	6,000円
中 国 語 (中級)	毎週金曜日 18:30~20:00 5/20(金)より3月まで全30回	6,000円
ハ ン グ ル (入門)	毎週金曜日 18:30~20:00 5/20(金)より3月まで全30回	6,000円
ポルトガル語 (入門)	毎週月曜日 18:30~20:00 5/16(月)より3月まで全30回	6,000円